

添付資料

- | | |
|------|-------------|
| 資料 1 | 聞き取り調査手順書 |
| 資料 2 | 新聞折り込み調査票 |
| 資料 3 | 交差点改善のアイデア |
| 資料 4 | 委員会開催への要望意見 |
| 資料 5 | 聞き取り対象者リスト |
| 資料 6 | 調査実施者リスト |

資料1 聞き取り調査手順書

北常三島町交差点交通安全方策検討委員会（仮称） 関係者分析について

はじめに

私たちは、今回、北常三島町交差点の改善方策を検討するにあたり、「(社)土木学会」ならびに合意形成の支援を行なう「NPO法人コモンズ」による調査チームです。今回、国土交通省より、国道11号の北常三島町交差点の改善方策について、どのような方々が、どのような関心をお持ちかを調査するよう委託されました。

なお今回の調査は、今後数ヶ月中に北常三島町交差点の改善方策を検討するための委員会を開催するとした時、どのような方々に代表者として参加していただくべきか、またどのような問題点を委員会で議論すべきかを明らかにするために行なうものです。

今回頂戴するご意見は、個人名などが明らかにされない形で公表いたします。また、今回頂戴するご意見とあなたの個人名・組織に直接関係する情報については、調査チーム担当者以外の者に対しては一切明らかにされません。委託者の国土交通省にもこの情報は提供してはいけないことになっております。

(社)土木学会とNPO法人コモンズは今回の調査において、国土交通省を含めた関係者の意見を取りまとめるための独立した中立の第三者機関として機能いたします。(社)土木学会とNPO法人コモンズは、本業務において、国土交通省を含めた関係者からの独立性、第三者性を維持するため、担当者以外に個人情報等を漏らさないことや、どなたの利益からも中立であることを契約において指示されています。

北常三島町交差点について

- 現在の課題、
- 将来の改善の可能性と制約条件

について、あなたはどのようにお考えか、お聞かせください。

調査のすすめ方

まず、どのようなご意見をみなさんがお持ちかを調査するため、幅広い関係者の方々から個別に聞き取り調査を行ないます。

次に、伺ったことがらを「予備報告書」という形でとりまとめます。予備報告書には、お話を伺った方々がどのような方々かを「聞き取り調査対象」として掲載します（例えば交差点南東側住民名、沿道商店など個人名、事業者名がわからない形で掲載します）。あなたご自身のご要望を北常三島町交差点の改善策に反映し、また安心してお答えいただくため、このような形で守秘義務を保全します。

予備報告書は、調査チームがお話を伺った全ての方々に配布され、ご自身のご要望が掲載されているかどうかご確認いただきます（なおこの機会により、他の方々が述べられたご要望を削除したり、きわめて類似した内容のご意見を複数掲載したりすることはありません）。

調査チームは、予備報告書をもとにご意見を反映した最終報告書を取りまとめます。最終報告書は国土交通省に提出するとともに、一般公開いたします。

聞き取り調査の質問

聞き取り調査を進めるために、以下の質問を用います。

あなたとあなたの組織

- あなたご自身、またあなたの組織（会社）についてお教えてください。

普段、あなたご自身は北常三島町交差点周辺の道路をどのような形で利用されていますか？

また、組織（会社）としてはどのような形で利用されていますか？

最後に、あなたの組織（会社）のお客様や取引先などはどのような形で利用されていると思いますか？

現状に関する意見

- 現在の北常三島町交差点について、利用していて何か問題があると思いますか？

➤もし問題があるとすれば・・・

- ◇ どこが問題ですか？
- ◇ 誰が困っていると思いますか？
- ◇ その人がどのような形で困っていると思いますか？
- ◇ あなたはその問題についてどう思いますか？

将来の可能性

- もし問題点があるとすれば、その問題を解決するために、どのような方法で対処することが最も望ましいと思いますか？

？その方法を思われる理由は何ですか？

- 将来、北常三島町交差点を改善するとして、「こういうふうにはしないでほしい、こうされると困る」ということは何かありますか？

交通安全施策に関する意見

- 国土交通省によれば現在の北常三島町交差点は交通事故が多発する交差点となっているそうです。そう聞かれて、あなたご自身の経験として思いついたり、聞いたりした問題はありますか？
 - もしあるとすれば・・・
 - ◇ どこが問題ですか？
 - ◇ 何が原因とと思いますか？
 - ◇ それで困っている人はいるとと思いますか？
 - ◇ あなたはその問題についてどう思いますか？
 - ◇ なにか改善方法を思いつきますか？
 - ◇ その方法で困ることや困る人はありませんか？

話し合いについて

- 他にどなたかご意見を伺ったほうがよいと思われる方をご存じですか？もしご存知でしたらお教えください。
- 今後、近隣にお住まいの方々、また交差点をお使いの方々などにお集まりいただき、交差点の改善方策にまつわる課題について話し合う場を設けるとしたら：
 - あなたご自身は参加できますか。
 - もし、あなたご自身が参加するとしたら、時間、開催場所、開催頻度などについてどのようなご希望がありますか？
 - もし、あなたご自身が参加するとしたら、時間、開催場所、開催頻度以外に何かご希望はありますか？
 - あなたご自身が参加しない場合、あなたの代理として意見を述べてもらえそうな人はいますか？

おわりに

3月に、予備報告書を作成する予定です。予備報告書ができ次第、みなさまに内容をご確認いただくために郵送いたします。

お時間をいただき、誠にありがとうございました。

資料 2 新聞折り込み調査

北常三島町町交差点についてご意見をお寄せください

国土交通省では、国道11号の北常三島町交差点の改善方策について、どのような方々がどのようなご意見をお持ちか、調査することにしました。調査は、国土交通省から委託を受けた「社団法人土木学会」と合意形成の支援を行う「NPO 法人コモンズ」による調査チームが行います。

この調査は、今後数ヶ月中に北常三島町交差点の改善方策を検討するための委員会を開催するとして、どのような方々に代表として参加していただくべきか、どのような問題点を委員会で議論すべきかを明らかにするために行うものです。

みなさんから頂いたご意見は、個人名などが明らかな形で公表いたします。また、あなたの個人名や組織に直接関係する情報は調査チームの担当者以外には一切明らかにされません。委託者の国土交通省にもこの情報は提供してはいけないことになっています。

お聞きしたいことは以下の3点です。裏面の記入欄にご記入の上、ファックスまたは郵送で2月10日(木)までにNPO 法人コモンズ事務局へお送りください。

1. 北常三島町交差点の現状について

北常三島町交差点をご利用されていて、何か問題があるとお考えですか？

あるとお考えの場合、問題のある場所、困っている人、どのように困っているか、また、あなた自身の問題点に対するご意見をお教えてください。

2. 将来の可能性について

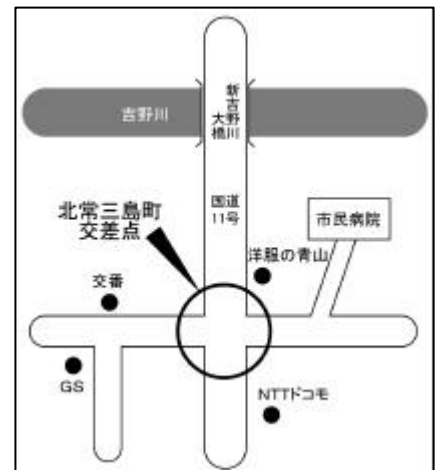
もし問題点があるとすれば、問題解決のために、どのような対処方法が最も望ましいと思われますか。理由を添えてお書きください。

また、北常三島町交差点を改善するとして、「こういうふうにはしないでほしい、こうされると困る」ということは何かありますか。

3. 交通安全施策について

国土交通省によると、北常三島町交差点は交通事故が多発する交差点になっているそうです。あなた自身の経験として、交通安全面で思いついたり、聞いたりした問題はありますか。

ある場合、問題のある場所、困っている人、どのように困っているか、また、あなた自身の問題点に対するご意見、考えられる改善方法、その改善方法により困る人がいるかどうかなど、お教えてください。



調査者：NPO 法人コモンズ

〒770-0814 徳島市南常三島町 1-2-5 TEL：088-652-7666 担当：笠井

実施者：社団法人土木学会四国支部

〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1 TEL：088-656-9877 担当：滑川

委託者：国土交通省徳島河川国道事務所 交通対策課

〒770-0803 徳島市上吉野町 3-35 TEL：088-654-9623 担当：本田、福田、下川

ご記入欄

後ほど連絡を差し上げることがあるかもしれませんので、住所、氏名、電話番号は必ずお書きください。

お名前	お年	職業
ご住所		電話番号
1．北常三島町交差点の現状について		

資料3 交差点改善のアイデア

注：資料3は、「関係者聞き取り調査」のうち、「交差点改善のアイデア」に関する聞き取り情報を整理した

1．信号に関すること

- ・交通量と信号機の時間を再検討する
- ・信号の連携をよくする
- ・以前と信号を変えて事故が減ったのかどうか調べる
- ・北側からの右折信号の時間を長くする
- ・信号機をもう少し見易く（例えば大きく）する
- ・時差信号の表示をつける
- ・左折可を有効に利用する
- ・夜、南からの右折車信号をもう少し長くする
- ・東西方向の信号の数を減らす
- ・信号を本町信号のように一箇所ずつにする
- ・信号のサイクルを長くする
- ・信号の待ち時間を短くしてもらいたい
- ・右折信号のあと青信号となるように信号の順番を変える
- ・右折は単独にする
- ・信号を車用と自転車用に分け、時間差を設ける
- ・自転車専用の信号をつける

2．歩道橋に関すること

- ・歩道橋をなくす
- ・歩道橋をずらす
- ・歩道橋をLだけにする
- ・歩道橋を交差点の上でクロスさせる
- ・歩道橋がもっとなだらかに
- ・歩道橋に自転車が上がれる斜路を付ける
- ・歩道橋にエレベータを付ける
- ・歩道橋にエレベーターを付けても利用者はいない
- ・自転車も乗れるようなエレベーターを設置
- ・登りだけでも動く歩道をつける
- ・歩道橋を取り除けたら、途中に島を作る
- ・歩道橋の階段部分のスリム化
- ・柱を整理し死角を少なくする
- ・歩道橋の階段の位置や形、色の改善
- ・歩道橋の円柱がなくなると店が危なくなるので困る

3．交差点形状に関すること

- ・立体交差にする
- ・地下道をつくる
- ・平面交差の方がよい
- ・オーバーハングという方法もある
- ・吉野川大橋のレベルをそのまま持ってきて直進車と右左折車の高低をつける

- ・交差点をコンパクトにする（渡る距離を短くする（例えば横断歩道をなくして停止線を交差点に近づける））
- ・交差点から何mは出入り口を制限する
- ・交差点をもっと広くする
- ・交差点の視距確保
- ・交差点を正方形に近づける

4．歩道・横断歩道に関すること

- ・平面の横断歩道を作る
- ・クロスに渡れるようにスクランブル交差点にできないか
- ・斜め横断歩道を2本追加する
- ・横断歩道などは特に必要ない
- ・歩道が狭いので広げてほしい（登校時、下校時に自転車が多い）
- ・バリアフリーの改善が必要（道路の拡幅が必要だろう）
- ・市道側からの右折車に対して歩車分離にしてほしい
- ・病院利用者は下を歩く（地下にすればいい）
- ・歩道と車道との段差は障害者にとっては無い方がいい
- ・助任交番前、進入道側の横断歩道利用を進めるよう周知させる
- ・東西方向の車道と歩道に段差があるのでどうにかしてほしい
- ・交差点内に横断歩道、歩行者専用の信号を設置して欲しい
- ・自歩道の分離改良と視野確保、とくにバリアフリー
- ・弱者のための階段の解消、横断のための目ざわり物の撤去

5．自転車道路に関すること

- ・自転車路を一方通行にする
- ・自転車道を交差点から少しはなす
- ・自転車を保護する方法を考えてほしい
- ・自転車が多い時間帯などに自転車を先に通すシステムを導入して欲しい
- ・通学時間帯は自転車等のみのスクランブル交差点とする
- ・南側の歩道部分を拡張して十分な待機場所の確保と、渡り終えて左折、右折、直進する人が安全に走行できるスペースの確保が必要
- ・自転車専用の地下道を作ってはどうか（自転車の安全な通行と渋滞緩和の意味をかねて）
- ・自転車横断帯のカラー化
- ・自転車横断帯の標識
- ・小学生の子供でも自転車で安全に通行できるようにしてほしい
- ・自転車専用を歩行している人が自転車の走行の妨げになっている
- ・歩行者および自転車の横断を全面禁止にするか、一箇所だけ自転車を通すようにする

6．市民病院に関すること

- ・市民病院の信号をもう少し長くする
- ・市民病院利用の車椅子や電動スクーター用のバリアスペースを設ける
- ・市民病院内までバスが乗り入れる
- ・市民病院のアクセス路をもう少し東にとる
- ・市民病院前の横断歩道が安全に渡れるようにしてほしい
- ・病院の入り口を北側につくれば渋滞が緩和されるのでは
- ・渭北橋の拡幅を利用する
- ・交差点の改良と病院の出入り口などの整合性が必要である

- ・鳴門側で1箇所、大学側で1箇所とする、出入り口を集約（整理）する
- ・駐車場の入り口や、タクシーの待つ場所を変える
- ・左折レーンの設置
- ・市民病院の開院による車、人の流れをみてから考えないとだめなのは
- ・費用はかかるが、市民病院へのアクセスのためのオーバブリッジ
- ・周囲の渋滞解を、ゲートを病院の敷地の奥の方に置くことで解消
- ・市民病院から一つ手前の信号のタイミングが悪い、もっと手前で止めるべき

7．東西交差点、マンション入口に関すること

- ・東西にある隣の交差点とあまりにも近すぎる
- ・交番の前の道が狭くよく混むので改善してほしい
- ・隣接西側交差点の横断歩道をなくし信号を左折のみにし右折を禁止する
- ・隣接西側交差点の横断歩道をなくし信号を感应式に
- ・マンションへの道路は一方通行にする
- ・マンションへの道路は私有地であれば買い取る
- ・マンションへの進入口をはっきり表示し、オートバイ、自動車の停止ラインをはっきりと表示し、ゆとりのある入り口にして欲しい。停止位置を守る。
- ・マンション裏側の道路を通行できるようにしてほしい
- ・交差点西の県道の北私市道については、信号だけで解決するのは無理なので、県道の拡幅を含む交差点改良を要するのではと思う。先の3私市道を統合して1箇所にとめることも検討の要。そのために興源川の河川敷を有効利用する手もある（交番も移転の話がある）

8．レーンの設定に関すること

- ・車線数を増やすということが根本的な解決
- ・左折専用レーンをつくる
- ・市民病院前の道を3車線にする
- ・川内から田宮方面への右折車を短い時間で処理するため2車線化
- ・オンランプにおける車の制御
- ・6車線から4車線にし、歩道を広くする
- ・県道側の右折レーンがさらに短くなると困る
- ・県道からの左折車を交差点に入れないようにする
- ・北側からの右折レーンを長く、右折レーン標識をもっと手前から出す
- ・西から左折・直進で1車線しかないのに対応する
- ・田宮方面への右折の2車線化
- ・Uターン禁止にされるのは困る
- ・北側でのUターンを禁止して欲しい
- ・Uターンを禁止すれば次ぎの（南の）信号で右折（Uターン車）が激増することが考えられる

9．照明・サイン・舗装に関すること

- ・交差点をもっと明るく
- ・センサーによる自転車通行者へのライトアップ
- ・歩道橋下が暗いので灯りがあると良い
- ・追突事故防止のための注意を促す路面表示をする
- ・ゼブラゾーンの表示はやめる
- ・歩行者や自転車注意の看板がほしい
- ・塀や看板の高さ、位置を変更し見通しを良くする
- ・東からの道路に書かれている矢印を考える

- ・道路標示の引きなおし（修正）
- ・停止線の位置や横断の線を中央からもっと遠くに
- ・交差点の明示（路面のカラー舗装・自動点滅道路鋏）
- ・視覚障害者誘導用ブロックの設置
- ・点字ブロックなどの上に物を置かない
- ・「左折車注意」などの標識で自転車に警告する
- ・減速路面舗装をする（騒音問題のため、段差を少なくし、目立つものとする）
- ・県道側の自転車道の段差をなくしてほしい（舗装などもガタガタなので通行しにくい）
- ・カラー舗装等の対策
- ・弁慶さんの前にミラーをつけてほしい（自転車、歩行者が見えない）
- ・右左折の視線誘導を行う
- ・歩道橋のあたりに監視カメラ（作動しなくてもいい）を設ける

10 . ガードレール・柵・中央分離帯・緑に関すること

- ・ガードレールの改善
- ・Uターン車や東側からの右折車が怖いので、ガードレールを長くして欲しい
- ・ガードパイプの整理
- ・建物の前に鉄柵をしてほしい（歩道橋のあたりはあるから）
- ・中央分離帯を塀にして渡れないようにする
- ・中央分離帯の削除はしないでほしい
- ・中央の植え込みをもう少し高くする
- ・植え込みが殺風景なので緑を増やしてほしい
- ・歩道の緑はなくす
- ・植樹帯の整理

11 . 交差点全般に関すること

- ・一番弊害をもたらす交通を優先させる
- ・交差点の見通しを良くする
- ・交番が近いので交通指導してくれないか
- ・交通量の多いところは危険だが、人目に付きにくい所も危険
- ・現状の事故原因を分析するほうが先決
- ・周辺道路も含めた全体計画が大切
- ・道路管理者はいかに右折車をさばくかを考えてほしい
- ・道路管理者と公安委員会との協議を密にしてほしい
- ・設計段階から、国、県、市などの協議が大切
- ・人や自転車を排除するような対策をしないでほしい
- ・生活道を閉鎖する事はやめてほしい
- ・町の中に車を入れないという形の対策は徳島には向かないだろう
- ・改善されるまでの間、監視・指導員を置く（4名程度、朝7時～9時、夕方16時～19時）
- ・車のひどい違反については注意、通告制度も必要
- ・一般ボランティア監視員に委託する方法もある。その場合は一部権限を付与も要するかと思う
- ・車線誘導などのソフト対策を優先的に行うべき
- ・事故形態を把握し（数年間で事故形態がどう変わっているかなど）、対処することが必要だと思う
- ・改善するならもっと頭を使って欲しい（現実を見据えての改善）
- ・徳島では右折が多く、これを減らせば渋滞は減る
- ・右折をコンパクトに処理する
- ・道を広げる
- ・自動車の追突に関しては、スピードを落とし、周囲に注意を払う

- ・循環バスの優先
- ・一般道路に見られる速度規制は、経済発展を重く見て今のままとなって欲しい
- ・朝夕は通勤に自転車歩行者の通行を優先にし、早朝、日中はマイカーの通行を優先にする
- ・みんな今の状況でなれているし、変えると事故が起きるので、何もしないで欲しい

1 2 . 当交差点以外の要素に関すること

- ・多くの選択肢があるような交通の流れが必要
- ・県道側の道幅を広くすれば良いでは
- ・川内から田宮方面への右折後の道の処理能力を改善する必要がある
- ・交差点に車が集中しないよう、橋を渡ってすぐに西行きの道路をつくり、この交差点で右折する車を少なくする
- ・吉野川大橋の南で左折させ、この交差点に車をできるだけ入れさせない
- ・城東高校の周辺部分の車線変更をスムーズにする
- ・渋滞に関して、旧吉野川橋を4車線にする
- ・1点に集中しない交通網が必要
- ・交通量のための渋滞、事故の低減は環状線の完成を待つ
- ・大橋過ぎてから河川敷グラウンドにいける道と上吉野方面にいける道がほしい
- ・興源寺川を利用し、川の中を道路にする（国道へのバイパス）
- ・大橋から交差点までに信号があればスピードが落ちるのでは
- ・吉野川大橋から問題の交差点までの間の直進車線を減らし平均速度を下げる
- ・南方向は渋滞するのでその流量に以上の道幅は必要ない
- ・遠くから信号が見えないように看板等でさえぎる
- ・城東高校前の南進車線を1車線増やして欲しい
- ・城東高校前の現在右折車線になっている1本を直進可にして欲しい
- ・新吉野川橋の南詰めに自転車道（アンダーパス）を作り立体化して欲しい
- ・北側からのUターンを減らすために河川敷グラウンド利用者（北側から来る人）に便利な道をつける
- ・助任町交番から興源寺川「さんかん内科外科」から11号への道路を拡幅しバイパス機能を強化されたい
- ・南より大橋行き、下の側道行き、西より登ってくる車、それに大橋西側歩道を下ってくる自転車が交錯し、交差点以上に危険で事故多く何とか対策を立てないと重大事故が起こりそう

資料4 委員会開催への要望意見

注：資料4は、「関係者聞き取り調査」のうち、「委員会開催への要望意見」に関する聞き取り情報を整理した

注：()内数字は、意見数を示す。

参加について

- ・参加する
- ・参加する（または代理が参加する）(3)
- ・時間が許せば参加する(6)
- ・場合によって参加する
- ・依頼があれば参加する(2)
- ・業務として参加する(2)
- ・一個人として参加する(2)
- ・意見を反映してもらえらなら参加する(2)
- ・意見が反映されるのであれば是非とも参加したい
- ・意見会なら参加してもよい
- ・参加は難しい
- ・参加しない
- ・詳しい事が分からないと返事が出来ない
- ・陸運支局の他、バス協会やバス事業者の参加が望まれる
- ・学校が問題視する交差点であれば保護者がたくさん参加すると思う
- ・身障者の方に直接聞いた方がいい
- ・バス協会より運行のことをよくわかっている人のほうが適任

開催頻度

- ・2ヶ月に1度程度(2)
- ・月に1回か2回(3)
- ・9月、10月、11月は企業研修などで忙しい
- ・なるべく参加者が多い日時を選んでほしい
- ・議論の内容や参加者など、会の枠組みで決まる
- ・施工までの期間により開催頻度は変える必要がある

開催時間

- ・時間はいつでも(3)
- ・夜8時以降(2)
- ・月曜
- ・水曜の午後
- ・平日の13時半以降
- ・平日なら昼でも夜でも
- ・平日の午後6時半か7時
- ・夕方は忙しいので昼間が良い
- ・勤務時間中
- ・仕事時間中は難しい
- ・時間帯はケースバイケース

- ・基本的に、住民などの参加日時に合わせたい
- ・そんなに多くなければ時間等で特に要望はない

開催場所

- ・徳島市内の開催（２）

委員会への要望

- ・テーマを絞った話し合い（制約条件を設ける）（２）
- ・提案された対策についての議論はできるが、それ以前の議論は難しい
- ・交差点改良と道路改良の議論を整理したうえで優先順位をしっかりと決めて行ってほしい
- ・交差点の改善に限らず予算をもっと有効利用すべきで無駄な事業が多い
- ・問題意識があってはじめて意味がある
- ・運輸支局やバス協会やトラック協会及びバス事業者の参加が望まれる
- ・４年後に市民病院が新しくなり、正面玄関、緊急出入口等の位置が変わり市民病院を利用する車の動きが変化すると思われるので、そのことも踏まえて改善、検討いただきたい
- ・委員会の動向経緯又結論を私達（アンケート回答者）にも出来れば報告いただきたい
- ・国・県・市・警察も入ってこの交差点改良に取り組んでほしい
- ・現場の実態調査は関係機関では充分実施されていると思われるが、第三者、専門家も歩道橋上でじっくりと調査して結論を出してほしい（公平に）
- ・どのような状態であっても、今より改悪にならないことを望む

資料5 聞き取り対象者リスト

注) 組織名及び個人名は、「公表と表記範囲」についての本人の承諾が得られたものについて記載

直接ヒアリングによる聞き取り調査リスト(あいうえお順、敬称略)

計54名

属性	組織名及び個人名
車両関係者	運送会社・ドライバー・元木康幸、社団法人・徳島県安全運転管理協会・専務理事・福良昭、社団法人・徳島県バス協会・専務理事・井堀文皓、社団法人・日本自動車連盟・徳島支部・事務所長・西岡敏明、徳島運輸支局・総務企画課・課長・中尾喬、徳島市交通局・営業課・課長・中野秀實、徳島市消防局・警防課・警防係長・吉田政市、日本郵政公社・徳島中央郵便局・総務課・課長代理・井上力男 他3名、計11名
近隣住民 学校等	朝日プラザフロンテージ助任橋・仁田津久美、社会福祉法人・徳島県身体障害者連合会・事務局長・岩野忠利、助任本町4丁目町内会長・江西弘充、助任本町5丁目町内会長・西野昌明、徳島県立城東高等学校・生徒課長・天羽博昭 他9名、計14名
近隣事業所	光洋建築事務所・田上邦夫、田上洋一、コスモ不動産・勝浦キヌ子、寿し銀八・民喜嘉哉、炭火やきとり・弁慶・加賀田美仁、徳島市病院部・副主幹兼係長・高瀬善郎、ヘアショップピース・坂口竹男、渡辺企画設計・渡邊速 他12名、計20名
行政 (交通・道路)	国土交通省・徳島河川国道事務所・交通対策課・課長・本田肇、国土交通省・徳島河川国道事務所・徳島国道出張所・管理係長・田村彰啓、国土交通省・徳島河川国道事務所・徳島国道出張所・所長・庵原伸二、徳島県警察本部・交通部・交通規制課・管制担当・課長補佐・杉本雅昭、徳島県警察本部・交通部・交通規制課・主査兼規制第二係長・宇城正晃、徳島県・徳島土木事務所・維持補修課・交通安全対策係・係長・宮本元志、徳島県・徳島土木事務所・管理課・道路管理係・技師・出口浩治、徳島市・土木部・道路維持課・管理係係長・酒井脩、徳島市・土木部・道路建設課・副主幹兼施設係長・木下一幸 他0名、計9名

FAXによる聞き取り調査リスト(あいうえお順、敬称略)

計16名

属性	個人名
-	井崎ゆみ子、江西巖太、坂元吉次、島田裕之、高橋令次、高原敬、田村道子、中尾春美、南城ミツ子、宮木国彦 他6名、計16名

資料6 調査実施者リスト

(あいうえお順、敬称略)

区分	所属	担当者	連絡先
委託者	国土交通省 徳島河川国道事務所 交通対策課	下川 泰弘 福田 尊元 本田 肇	〒770-0803 徳島市上吉野町 3-35 TEL：088-654-9623
実施者	社団法人 土木学会四国支部	滑川 達 山中 英生	〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1 TEL：088-656-9877
調査 チーム	社団法人 土木学会四国支部	郡 佑毅 滑川 達 村上 香奈	〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1 TEL：088-656-9877
	特定非営利法人 コモンズ	笠井 義文 喜多 順三 倉橋 雄二 澤田 俊明 田中 紀子	〒770-0814 徳島市南常三島町 1-2-5 TEL：088-652-7666
	社団法人 土木学会	関係者分析調査アドバイザー： 松浦 正浩 (マサチューセッツ工科大学)	77 Mass. Ave., #7-303 Cambridge, MA 02139 USA Email：masam@mit.edu (日本語可)